


対象	1) 透明平板ガラスなど、表面が平滑なガラスに貼ります。 (網入りガラスでも、表面が平滑であれば貼れますが、凹凸がある場合は貼れません) 2) 室内側に貼ります(外から貼る場合には、外貼り専用のフィルムをご使用ください)。	
簡易タイプ	A3版防犯フィルム等、クレセント周囲に貼る"簡易タイプ"も、貼り方の原理は同じです。	
フィルムの厚さにご注意ください。 フィルムの厚さにより、ポイントが異なります。	スキージーで水抜きの際の入れ方は、"フィルムが厚ければ強く、薄ければやさしく"です。体重計などで押してみましょ 防犯フィルムGS200K(総厚225ミクロン)で12kg程度、日照調整フィルム(総厚60ミクロン)で約5kg位を目安にしてください。	
防犯フィルム 防犯・遮熱コンビ 貫通防止フィルム	フィルムの総厚 100ミクロン以上 350ミクロン程度	フィルム貼り時の水抜きがポイント、適度な力が要ります。 水や空気が残ったら、数時間以内に再度スキージー(ヘラ)掛けを行えば良い。(プロは2度手間をさけるため、入念に仕上げます)
日射調整フィルム 装飾・プライバシー フィルム	フィルムの総厚 50ミクロン以上 100ミクロン未満	フィルムが薄い分折れ目が出来やすい。 水抜きは、容易です、力はあまり要りません。 水抜き作業時、スキージーの角で傷つけないように注意しましょう。

## 用意するもの

用意するもの	説明
洗浄液(水と中性洗剤・濃い目) スプレー容器(霧吹き1) ゴムヘラ・スクレーパーなど	中性洗剤を1/100~1/500に水で薄めたもの。 スクレーパー:幅100ミリ位の薄い刃物、ガラス面のこびり付き除去用 ゴムヘラ:洗浄の仕上げに便利です。
施工液(施工専用液を水で希釈) 当社の切売りには"施工液ミニ"が付きます。 スプレー容器(霧吹き2)	正確には、"非イオン界面活性剤" 付属の施工液ミニ1ケで1000mlの施工液が出来ます 市販の飲料水ペットボトル(500cc)2本分。たっぷり使ってください。 少なすぎると、滑らなさ過ぎて、位置決めがうまくいきません。
セロテープ	リリース(はがし)フィルムをはがすときに便利です。
ヘラ(スキージーといいます)	弊社からフィルムをご購入の際には、スキージーを同送します。 ホームセンターでも購入できます。
キッチンペーパー(ロール)	多量に用意してください。 洗浄液や、施工液の拭き取りに、キッチンペーパーが便利です。 タオルなどは、繊維のケバがガラスに付着しますので、厳禁です。

## 施工手順 - ガラスの洗浄

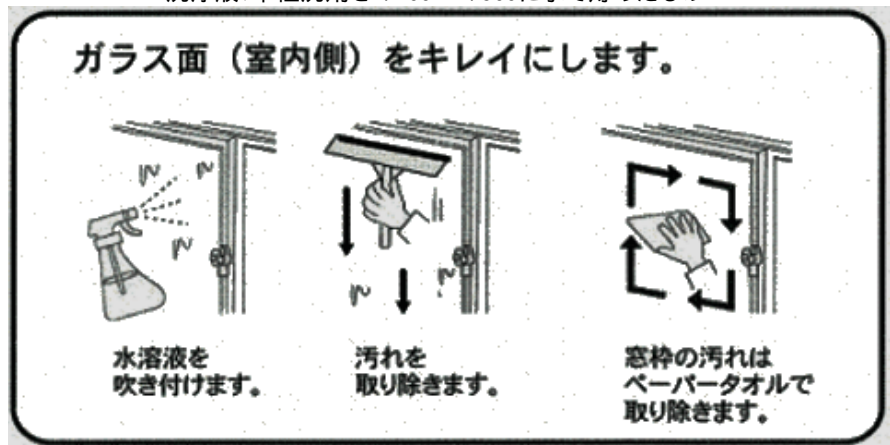
水をタブリ使います、カーテン・家具調度品など濡れないように、汚れが飛び散って付かないように、周囲の養生をしましょう。下部には水が落ちます、タオル・布などでしっかり養生しましょう。  
エアコンも止めて、空気中にダストが舞わないようにします。

### ガラスの洗浄が最重要です

ガラス面に洗浄液をスプレーします。  
スポンジタワシが便利です。  
頑固な汚れは、少し時間を置いて、スクレーパー等で、こびりつきを取りま  
す。  
最後はゴムヘラで、きれいに仕上げま  
す。

窓枠・ブレード(ゴムパッキン)もきれい  
にしましょう。  
ここに汚れが残っていると、  
施工の時染み出して、仕上がりに影響  
してしまいます。

洗浄液: 中性洗剤を1/100~1/500に水で薄めたもの



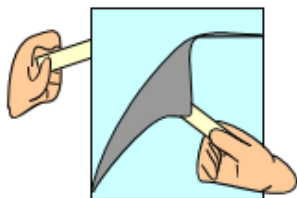
ガラスの洗浄後の仕上げは、

洗浄液は洗剤成分の量が多いため、残っていると滑りすぎになりますので、施工液をスプレーして再度ガラスをきれいにします。  
ゴムヘラ、又はスキージーを使用して水分を取り除きます。一定方向(片道)に除去するのがコツです。  
窓枠の水に汚れが溜まっていない様、キッチンペーパーでふき取ります。(特に木製の場合は丁寧に)  
窓枠の汚れが残っていると、フィルムを貼ったとき毛細現象でガラスとフィルムの間に入りこんでしまう場合があります。木製窓枠の場合は、マスキングテープを貼ってしまうのも一法です。

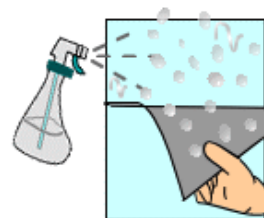
## 施工手順 - 貼付本番

施工場所の空間及び施工者の被服に、スプレーして、静電気によるダストを押さええます。  
指先に、スプレーしてから、リリースフィルムをはがしていきます、接着面にさわっても指紋がのこりません。  
リリースフィルムを剥がしながら、接着面に施工液をスプレーしていきます。

大きいガラスの場合は2人ペアでの作業をお奨めします。  
ガラス窓が2枚の場合、洗浄した隣のガラスに施工液をスプレーし、リリースフィルムを手前にして仮置きすると便利です。リリースフィルムを剥がして施工ガラス面に貼り付けます。  
2枚目も同様に、隣のガラス上に施工液をスプレーして仮置きしてから、作業を繰り返します。



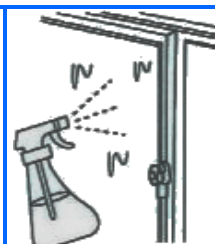
セロテープを使用すると、  
リリースフィルムがはがしやすくなります  
指先を濡らし、リリースフィルムを剥がします。  
剥がしながら、施工液をスプレーしていきます。  
これで静電気によるダストの付着を防ぎます。



### 再度！ガラス面にダストや動物の毛などが付着していないことを確認。

1. 貼る直前に再びガラス面に施工液をまんべんなく、水がしたたり落ちるくらい  
タツプリと吹き付けます。  
(夏場は、液が蒸発しやすいので、施工液を濃い目にします)  
リリースフィルムを剥がしたフィルム接着面をガラス面に置く感じで載せ、  
手のひらで軽〜く押し当てていきます。

薄いフィルムは、しわにならないよう気をつけましょう。



2. 位置決めを行います、水に浮いているフィルムを、移動させる感覚です。  
全面貼りの場合は、端部片側2mm位あけます。水抜きを容易にするためです。  
施工液が少ないと動きません。こんなに？と思うほどタツプリ使ってください。  
動かない場合はフィルムをめくって再度、施工液をスプレーしてください。  
鍵の部分は横から滑り込ませるように差し込みます。



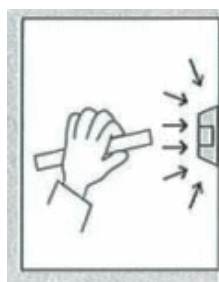
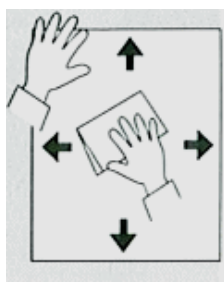
3. 位置が決まったら、上部を、ヘラで軽く圧着、中央部も縦長に、一押さえすると、  
フィルムが動かなくなります。

フィルム表面に施工液を吹き付けます。  
スキージーで、軽く水抜きを行います。



## 重要ポイント

4. スキージー掛け本番 上から下へ、中央から外へ中の空気と水を入念に押しだします。  
感圧接着剤を使っていますので、多少力を入れて数回押し出して下さい。  
特に、フィルムの端部は念入りに、鍵うけ部分の圧着がやりにくい場合は何か薄いものを利用してください。



念入りに水抜きを行っても、  
数時間後に、水玉が見えることがあります、  
すぐに、スプレーと水抜きを繰り返します。  
周囲の水分が乾いてからでは、抜けにくくなります。

水玉が出ても、自分で補修が可能であることが、  
自分で貼るときの大きな利点です。

小さな、水玉や空気は、放置してください。  
夏場で約1ヶ月、冬場で約3ヶ月くらいで抜けていきます。

これで完成です。お疲れさまでした。  
株式会社サイバーレプス  
貼り方URL: <http://www.cyber-reps.com/harikata/>